

第6分科会「社会形成能力」 運営概要

【研究課題】

社会形成能力の育成を目指す教育課程の編成と校長の在り方

【リーダーシップの視点】

- 1 社会に貢献する力の育成を目指す教育活動の創造
- 2 自立した社会人を育成するための教育課程の編成・実施・評価・改善

I 分科会研究協議の運営計画

これからの社会を生きる子どもたちに、しなやかな知性と豊かな人間性をはぐくむとともに、他者と協力して社会の様々な活動に参画し、今後の社会を積極的に形成していく力や態度を養うことが必要である。本分科会では、以下の視点から、校長のリーダーシップのもと、子どもたちが社会形成能力を身に付けていくための具体的方策を明らかにしていきたい。

<リーダーシップの視点1について>

学校には、家庭や地域と連携しながら、子どもたちに様々な人々や社会とかかわり、社会生活の基本的ルールを身に付けるようにしたり、社会とかかわりを豊かにしていく力を身に付けさせたりすること、さらに、よりよい社会の構築に貢献できる力を育成することが求められている。

↓ ↓
そこで

子どもたちに他者と協力して社会の活動に参画し、貢献しようとする意欲や態度を身に付ける教育活動を学校が創造するための校長の果たすべき役割と指導性を究明する。

<リーダーシップの視点2について>

学校は、子どもたちに社会の仕組みを理解させ、自立した社会人として生きていくために必要な知識や能力を育み、社会の発展に積極的にかかわろうとする態度の育成を目指した教育課程を編成する必要がある。

↓ ↓
そこで

子どもたちに社会の中での自己の役割、働くことや夢をもつことの大切さを理解させ、地域社会への興味・関心の幅を広げさせることや、互いの個性や人との絆を大切にする社会づくりに貢献しようとする自立した社会人として生きていくための基礎となる力を身に付けさせる教育課程を編成・実施・評価・改善していくための校長の果たすべき役割と指導性を究明する。

II 昨年度までの課題

今年度から新設された研究課題である。

そこで、

- ・「社会形成能力」をどのようにとらえるか。
 - ・小学校において、どのような教育活動を通して「社会形成能力」を育成するのか
 - ・「社会形成能力」の育成を推進する教育課程をどのように編成・実施していくのか
- などの観点から、校長のリーダーシップの視点1、2に迫っていきたいと考えている。

Ⅲ 研究発表の概要

研究発表者 根室管内 中標津町立西竹小学校長 横山 裕充 先生

発表題 「地域の環境を生かした体験活動を軸にすえた教育活動が子どもの生きる力を
育み将来にわたって地域を支える人を育む」

発表の趣旨

「社会形成能力の育成」について、それを学校の教育活動の目標として設定し、その目標実現のための教育課程を編成し取り組んでいく方法もあるであろうし、また、現在行っている教育活動全体を「社会形成能力の育成」というフィルターを通して見つめ直し、全体計画作成などで整理しながら教育課程を編成していく方法もあるであろう。

本発表は、後者の立場をとる。

「社会形成能力の育成」について、

- (1) 身に付けさせたい力や態度を明らかにしてキャリア教育の全体計画を作成することを必須とし、その計画の中に、「道徳教育の推進」「アイデンティティーの確立」などの観点をもつことを大切にすること
- (2) 地域の特性、地域の教育資源を生かした体験活動を重視することによって、地域との関わりを深め、地域に発信し、地域に貢献しようとする意欲を高めるとともに、自己肯定感や自尊感情を高めることを主張する。

Ⅳ 協議の流れ(13:00～16:30)

- 1 開会のことば … 2分(13:00～13:02)
- 2 担当者の紹介 … 7分(13:02～13:09)
- 3 司会者挨拶 … 6分(13:09～13:15)
 - ・日程確認・グループ編成などについて
- 4 趣旨説明 … 10分(13:15～13:25)
- 5 研究発表 … 20分(13:25～13:05)
 - ・パワーポイントなどを使用してプレゼンテーション
- 6 質疑応答 … 20分(13:45～14:15)
- 7 休憩 … 15分(14:05～14:20)
- 8 研究協議 … (14:20～16:05)
 - ・グループ討議 … 60分(14:20～15:20)
 - ・休憩 … 15分(15:20～15:35)
 - ・全体討議 … 30分(15:35～16:05)
- 9 研究協議のまとめと今後の課題… 20分(16:05～16:25)
- 10 閉会のことば … (16:25～16:30)

※名刺をご持参ください。… グループ編成・討議で使用します。